

荒井記念
美術館

「ピカソの花」

ピカソが「花の女」と称した女性画家、フランソワーズ・ジロー。ピカソと40歳も離れていましたが恋に落ち、二人の子供を産みました。しかし、次第に不和になり、ジローは子供を連れて自立の道を選びます。本展示では、ジローをモデルとした版画作品を中心として、ピカソにとっての「花」をご紹介します。

【同時開催】ピカソ版画常設展II「ピカソってどんな人？」

所在地……〒045-0024 北海道岩内郡岩内町宇野東505
TEL……0135-63-1111
URL……art@iwanai-h.com
開館時間…9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日……月曜日(祝日の場合は翌日)
※臨時休館 8月21日(火)、9月10日(火)(展示替えのため)
観覧料……一般1,000円(900円)／大高生700円(600円)／小中生400円(300円)
※()内は10名以上の団体料金 その他各種割引有り
交通……[バス] 中央バス岩内ターミナル下車タクシー15分



パブロ・ピカソ「母親と子どもたち」1953年

有島記念館 「北の大地に生きる花や草」

多くの人々を魅了する北海道の草花。はり絵で北の風景を描く藤倉英幸は、そこに生きる草花へも眼差しを向け続けています。北国の美しい草花に彩られた藤倉の風景画の魅力をお楽しみください。【7月27日迄:小規模展示のため観覧無料 7月28日以降:「藤倉展」共通企画として、画家・坂本直行と植物学者・鮫島惇一郎の作品も併せて紹介】



藤倉英幸「大雪に夏がくる」2009年

【同時開催】藤倉英幸作品受贈記念
藤倉英幸展「季節をたどって Part1」【7月22日まで】
藤倉英幸展「北海道の山と花 坂本直行・鮫島惇一郎とともに」【7月28日から】

所在地……〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町宇有島57番地
TEL……0136-44-3245
URL……http://www.town.niseko.lg.jp/arishima_museum
開館時間…9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日……開期中無休
観覧料……一般500円(400円)／高校生100円 中学生以下と65歳以上のニセコ町民は無料
※()は10名以上の団体料金 その他各種割引有り
交通……[JR] 函館本線ニセコ駅下車徒歩30分またはタクシー5分

小川原脩
記念美術館

「花～彩りとあそぶ」

色とりどりに咲き誇る花々の魅力は、画家たちの創作意欲をかきたてて止みません。ミュージアムロードの作家たちもまた例外ではなく、それぞれに花の色を捉え、その姿を描いてきました。赤、黄、白…色から色へのグラデーションもあり、まるで画家のパレットのようです。野に咲く素朴な草花から、室内をいろどる豪華な花束まで、作品に溢れる彩りの世界を散策してください。

【同時開催】常設展「小川原脩展 遙かなるイメージ I」【8月26日まで】
第60回 麓彩会記念展 【9月1日から】

所在地……〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1
TEL……0136-21-4141
URL……http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/
開館時間…9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日……火曜日 ※臨時休館 8月27日(月)～31日(金)(展示替えのため)
観覧料……一般500円(400円)／高校生300円(200円)／小中学生100円(50円)
※()は10名以上の団体料金
交通……[JR] 函館本線倶知安駅下車徒歩30分またはタクシー10分



小川原脩「無題」1973年

木田金次郎
美術館

「小さな花のものがたり」

大きな画面に描かれた壮大な作品も見ごたえがありますが、小さな画面に描かれた作品も魅力的です。とくに花を描いた作品は、手元に置いてみたくなったり、部屋の中でずっと眺めていたくなったり——。本展では、木田金次郎・西村計雄・山岸正巳・小川原脩が描いた、小さな花の作品をご紹介します。

【同時開催】特別展示「木田金次郎 コレクション再結集
～近美・道銀・芸森コレクションとともに～」

所在地……〒045-0003 北海道岩内郡岩内町宇万代51-3
TEL……0135-63-2221
URL……http://www.kidakinjiro.com/
開館時間…10:00～18:00(入館17:30まで)
休館日……月曜日(祝日の場合は翌日) 但し8月13日は開館します。
観覧料……一般500円(400円)／高校生200円(150円)／小中学生100円(80円)
※()内は10名以上の団体料金・リピーター割引・JAF割引
交通……[バス] 中央バス 岩内ターミナル下車 徒歩1分



木田金次郎「アネモネ」1960年頃

「花と人」

わたしたちは行事や節目の出来事があると、お祝いの花を用意します。季節ごとに咲く花を愛で、花柄の服や小物を身にまといまいます。古来より人びとの暮らしに彩りを添えてきた花は、画家の芸術表現にも大きなインスピレーションを与えました。本展では、作品の中に咲く花と、共に生きる人びとのかかわりを紹介します。

西村計雄
記念美術館

【同時開催】夏から秋の展覧会「空の向こう側」会場:常設展示室

所在地……〒048-2202 北海道岩内郡共和町南幌似143-2
TEL……0135-71-2525
URL……http://www.musee-nishimura.jp/
開館時間…9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日……月曜日(祝日の場合は翌日)
観覧料……一般500円(400円)／高校生200円(150円)／小中学生100円(80円)
※()は10名以上の団体料金
交通……[JR] 函館本線小沢駅下車バスまたはタクシー10分



西村計雄「ひざかり」1947年



共和町
井くしと和ちゃん

ニセコ町
ニッキー&アニッキー

岩内町
べに子&たら丸

倶知安町
じゃが子&じゃが太